



令和 8 年 7 月 1 日

広島大学が高校生と連携し一次救命処置の普及へ 「基町高校×広島県脳心センター PUSH FRIENDS」始動



情報提供

【プロジェクトの概要】

- ・心肺停止した人の救命や社会復帰を目指すためには、現場に居合わせた人による一次救命処置（BLS）の実施、特に自動体外式除細動器（AED）の適切な使用が不可欠です。
- ・広島大学では広島県脳卒中・心臓病等総合支援センター（広島県脳心センター、広島大学病院内）を中心に、広島県内のさまざまな団体と協力し、「たすかるけん！ひろしま県！」をテーマに、一般市民の皆さんに対する BLS の普及・啓発活動に取り組んでいます。
- ・このたび、広島市立基町高等学校の生徒らが立ち上げた「基町高校 PUSH プロジェクト」に所属するメンバーと広島県脳心センターが連携し、一般市民の皆さんに BLS の普及・啓発活動を行うプロジェクト「基町高校×広島県脳心センター PUSH FRIENDS」を、4月22日から開始しました。
- ・プロジェクトでは高校文化祭等での一般市民向け BLS 講習会での指導や、基町高校生が作成した AED シートの普及活動等を、広島大学の医師と高校生が協力して取り組みます。また、BLS の普及・啓発に取り組む高校生が医療について学ぶ場を提供します。
- ・一人でも多くの広島県民の方に BLS・AED について知っていただき、ひいては県内で発生した心肺停止者の救命率および社会復帰率を向上させ、県民の健康寿命を延伸に繋げることがプロジェクトの目的です。

【プロジェクトの背景】

全国で年間約 28,000 人の方が、誰かの目の前で心臓が原因の心肺停止となっています。心肺停止の現場に居合わせた一般市民の方が BLS を実施できなければ、倒れた人が 1 ヶ月後に社会復帰できる確率はわずか 3.7%です。一般市民の方が BLS を実施できれば、社会復帰率は約 10%まで上昇します。さらに、自動体外式除細動器（AED）で除細動まで実施できれば、心肺停止後の社会復帰率は約 44%まで上昇します（注 1）。救急隊や病院の医療従事者は全力を尽くしますが、心肺停止に陥った人を一人でも多く助けるには、一般市民の皆さんが BLS を実施する知識と勇気が不可欠です。

広島大学では広島県の委託事業として令和 6 年度より広島大学病院内に広島県脳卒中・心臓病等総合支援センター（中野由紀子センター長）（注 2）を開設しました。センターでは、広島県民の健康寿命の延伸のために BLS の普及・啓発活動を重要視しており、これまでにさまざまな活動を行ってきました（表 1）。

表 1. 広島県脳卒中・心臓病等総合支援センターが行う心肺蘇生法普及・啓発活動の例

BLS 啓発動画作成（MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島、エディオンピースウイング広島等で放映）
広島サンダーズ（プロバレーボールチーム）と連携した BLS アンバサダー養成研修
高校駅伝大会関係者を対象とした講習会開催（広島県高校体育連盟と連携）
広島県内高校での出張講習開催（広島県立井口高等学校陸上部で開催）

基町高校でも有志の生徒が「基町高校 PUSH プロジェクト」を立ち上げ、BLS の普及活動に取り組んでいます。特に、AED 装着時のプライバシー保護に活用する「AED シート」を作成し近隣の学校等へ配付したり、プライバシーに配慮した AED の使用方法を検証した論文が国内学会誌に掲載予定など大きな成果を挙げています（注 3）。

「基町高校×広島県脳心センター PUSH FRIENDS」は、この論文作成に関する報道を見たセンターのスタッフが、基町高校 PUSH プロジェクトと何か協働できる事業はないかと考え、基町高校の担当教員に打診させていただいたことから始まりました。

【プロジェクトの内容】

広島県脳心センター所属の医療従事者（医師、看護師、理学療法士など）と基町高校 PUSH プロジェクト所属の高校生が協力して、BLS の普及・啓発活動に取り組めます。広島県健康福祉局 健康づくり推進課とも協力して、主に広島県内での活動を展開します。

プロジェクト最初の取り組みとして、基町高校文化祭が行われた令和 8 年 6 月 13 日、広島県脳心センター所属の医療従事者が参加し、文化祭を訪れた小・中・高校生、保護者に BLS の知識や手技を指導しました（写真 1,2）。

写真 1. プロジェクトメンバー集合写真



写真 2. 文化祭での心肺蘇生法指導風景



今後も AED シートの普及活動等、さまざまな取り組みを企画・実施します。また、実際の医療現場の見学や、現役の医療従事者と救命救急医療の現状・課題を議論するなど、BLS の普及・啓発活動に熱心に取り組む高校生に、より深い学びの機会を提供します。

【今後の予定】

7 月 7 日 基町高校×広島県脳心センター PUSH FRIENDS 第 4 回 定期 Web 会議

8 月 20 日 基町高校 PUSH プロジェクトメンバーによる病院見学会

10 月 4 日（仮）親子で学ぼう心肺そせい術 Part 4（皆実高校看護学専攻科との協働を検討）

【基町高校 PUSH プロジェクトの皆さんからのコメント】

先日の文化祭では、多くの方にご来場いただき、救命法を広く知っていただく貴重な機会となりました。脳心センターの皆さまの心強いサポートと温かいご協力のおかげで、「命を守る行動をとれる人を増やす」ことができたと感じます。改めまして、ご支援・ご協力いただいた脳心センターの皆さまに心より感謝申し上げます。

基町 push プロジェクトリーダー 森下

＊本件リリース日の7月1日は「AEDの日」です。心臓が原因で心肺停止となった人の社会復帰を一人で多く実現するために、BLS・AEDの普及・啓発活動にご理解とご協力をお願いします。

【用語解説】

(注1) 心肺停止に関するデータは総務省消防庁「令和7年版 救急救助の現況」の統計を基に記載

(注2) 令和6年度より広島県の委託事業として広島大学病院内に広島県脳卒中・心臓病等総合支援センターを開設した。広島県民の健康寿命の増進を命題として、脳卒中、心臓病患者さんの支援や、疾患の予防・早期発見に関する啓発活動を多職種が連携して包括的に行う。

(注3) 特に男性に比べ、女性のAED使用率が低いという現状の改善を目的として、倒れた人の胸の上に向け、倒れた人のプライバシーを守る「AEDシート」（和歌山県立熊野高等学校特許取得「ハートフルシート」を参考）を基町高校生徒が作成した。プライバシーに配慮したAEDの使用方法について考察し、高校生が著者として執筆した論文が、日本不整脈心電学会学会誌「心電図」に掲載予定（令和8年10月）。

【関連ホームページ】

- 広島県脳卒中・心臓病等総合支援センター：<https://scdc.hiroshima-u.ac.jp/>
- 基町高校 PUSH プロジェクト：<https://www.motomachi-hs.jp/pushproject>

【お問い合わせ先】

広島県脳卒中・心臓病等総合支援センター（広島大学病院内）
センター長：中野 由紀子
担当医師：小田 登、宮本 翔伍、宮内 俊介
事務局：金井 香菜
Tel：082-257-5555（病院代表電話）
E-mail：scd-center@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚